



マインドマッピングソフトウェアで 職場の生産性を向上させる3つ の方法とは

あなたとチームが共にスマートかつ早くよりよい仕事できるよう、簡単に変わられること

企業の生産性の問題

打合せ、ブレインストーミング、プレゼンテーション

この3つの活動はあらゆる企業が機能するために重要、かつほとんどすべてのエグゼクティブの方々の業務の中心を占めています。

業務の中心を占めるにもかかわらず、ほぼいつも摩擦や「組織上の問題」が起き、今日の企業を病ませ、生産性の低下、ビジネス成長の遅延につながっています。

考えられる理由の1つが、古いソフトウェアツールを利用してこうした作業を管理しようとしていることです。多くのエグゼクティブが、会社の方針や習慣、またはその両者によって、こうしたアプリケーションに縛られていると、そのアプリケーションが貧弱なため、毎日彼らのところに押し寄せる大量の情報を効率よく対処することが難しくなります。

そうならないよく知られたもの？ それがマインドマッピングソフトウェアです。

「我々の研究では、平均的な会社は生産能力の20%以上（1週間で1日以上に相当）を、いわゆる“組織上の問題”（貴重な時間を消費して社員の業務遂行の邪魔をする構造やプロセス）に失っています。

 [HBR Blog](#)



企業の生産性問題の解決方法

軽快で直感的、見てわかるデジタルのマインマッピングは、個人の生産性向上ツールとして利用することで、驚くほど効果が見られます。さらにチーム内、特にこれらの3つの重要な作業をするチーム内の生産性向上に、最も大きな潜在的インパクトを与えます。

同僚との打合せ、アイデアのブレインストーミング、情報のプレゼンテーションが不要になることはありません。ではどのようにしたらこうした本質的な活動を、業務やビジネスを後退させることなく前に進められるように、実践し続けられるのでしょうか？

そうした活動に関する考えやアプローチを、少しだけシンプルに変えればいいのです。マインドマッピングソフトウェアを新たに導入するのです。

生産性向上を実現する手段への投資が不足しているようです。社員のトレーニングや機材へ投資すれば、働く方々の仕事は改善され、有能な人の雇用につながります。

 [The Economic Policy Institute \(EPI\)](https://www.epi.org/)



変えるべきこと① 打合せからコラボレーションへ

時間の無駄だったと感じる打合せを経験したことがあるでしょう。そういった気持ちはいつも、聞いていなかった、話していなかった、聞いてもらえなかった、の3つのいずれかから生じます。

マインドマッピングソフトウェアによって一直線上での情報のやりとりから、参加者全員がアクティブな参加者としてダイナミックなアイデアの交換へと打合せが自然に変化します。このシナリオでは理解が深まり、意識が一つになり、目的が達成され、業務が完了します。

言いかえると、マップ化すれば打合せはさらによくなります。

打合せの前に、マインドマップを以下のように利用してみましょう

- ・ アジェンダを素早くかつ注意深く検討する
(例、参加者、ゴール、構成、流れ)
- ・ ニーズを徹底的に予想する
(例、場所、開催日時、技術的な要望)

打合せの間、マインドマップを以下のように利用してみましょう

- ・ 参加者全員に見えるように部屋の最前面のスクリーン上にマップを表示して、打合せへの寄与を高める
- ・ キーポイント、結論、作業分担をまとめて一緒に見える形で提示して、理解の確認や意識合わせを行う

打合せの後、マインドマップを以下のように利用してみましょう

- ・ 参加者全員と打合せマップをすぐに共有することで、決定したことや必要なアクションを強調する(打合せ議事録を書き上げる時間を費やす必要はありません。マップ自体が議事録なのです)



写真: Mark Dickey-Collas

「MindManager によって若い研究メンバーが、みんな必ず何かに貢献でき、トップダウンで決められた通りに行うだけのアプローチではないということをわかってくれるようになりました。チームメンバーが各自の貢献度を見ることができるようになりました。」



Gretta Pecl

Climate change specialist and
Associate Professor and
ARC Future Fellow

変えるべきこと① 打合せからコラボレーションへ

役に立つ3つのリソース

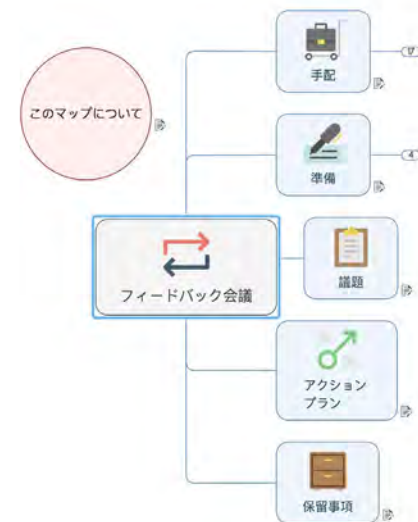
On-Demand Webinar:
[Holding Effective Meetings with MindManager](#)

HBR Online Article:
[What Everyone Needs to Know about Running Productive Meetings](#)

Map Template:
[The Feedback Meeting](#)



[MindManager の無料トライアル版の入手はここをクリック](#)



変えるべきこと② ブレインストーミングから問題解決へ

ブレインストーミングセッションをアナウンスすると、グループから時々否定的な声が聞こえるのはなぜでしょうか。大抵の場合、彼らの経験上、そういったセッションは長い時間がかかり、焦点がぼけて、何をしているのかわからなくなると信じているからです。

デジタルブレインストーミングによってこれを大きく変え、セッションで紙や付箋紙を手を使って作業することで起きていた混乱をなくします。デジタルにすれば、レーザーのように容易に焦点を合わせ続けられ、アイデアが出たらできるだけ早く取り込み、セッションを通じて完成したマップをそのまま、手元の問題を解決するためのアクションプランにするのです。

マップを使ったブレインストーミングは早く、楽しく、驚くほどパワフルです。一度デジタルブレインストーミングセッションを試してみて頂ければ、離れられなくなるでしょう。

セッションのはじめに、マインドマップを以下のように利用してみましょう

- ・ 部屋の前面でマップを共有することで、何が解決すべき問題かの共通理解を得る

セッションの途中で、マインドマップを以下のように利用してみましょう

- ・ すべての意見がマップに統合されていることを、参加者に見えるようにすることで、一体感や責任感を創る
- ・ 参加者が他の人の意見をベースに作り上げられるようにする。単に良いアイデアから、素晴らしいものに変換させることができるプロセスです
- ・ 今後の検討のため、“駐車場”と言われるフローティングトピックを創ることによって集中力を維持する

セッションが終わる前に、マインドマップを以下のように利用してみましょう

- ・ アイデアを評価して、1つないしはいくつかの最高に価値のあるソリューションに収束させる

セッションの終了後に、マインドマップを以下のように利用してみましょう

- ・ “保存”と“送信”だけを利用して、セッションの記録と成果を共有する
- ・ ブレインストーミングマップをプロジェクトの企画管理に利用して、すぐにアクションに移行する



「。。我々は潜在的な問題に光をあて、実行方法を示してくれるソリューションが必要でした。MindManager は我々が安全、デザイン、スケジュールにおけるリスクのバランスを取りながら、最善のデザインの方向を選択する手助けをしてくれます。」



Karl Gudmundsson
VP of Marketing

変えるべきこと② ブレインストーミングから問題解決へ

役に立つ3つのリソース

McKinsey Online Article:
[7 Steps to Better Brainstorming](#)

TEDblog post:
[How to Run a Brainstorm for Introverts
\(and Extroverts too\)](#)

Map Template:
[Problem Solving Session](#)



[MindManager の無料トライアル版の入手はここをクリック](#)



変えるべきこと③ プレゼンテーションからナレッジの共有へ

あなたはこれまで強烈な拷問のような「PowerPoint による死亡」(スライドが多すぎたり、スライドの一字一句をただ読み上げるスピーカーであったり)を経験したことが必ずあるでしょう。その結果は？ 参加者の心は揺れ動いて悪化し、完全に興味がなくなります。したがってそのプレゼンテーションは意図した目的、重要なナレッジを共有するということを達成できず失敗します。

マインドマップによるプレゼンテーションは、エグゼクティブミーティングルームにいが、ホールの端の窓のない会議室にいが、ナレッジを明確に伝えるだけでなく、聴衆の心をつかみ、引き込みます。マインドマッピングソフトウェアをプレゼンテーションに利用することは、強力で魅力的な選択肢です。なぜならあなたは以下のことができるからです。

素晴らしいプレゼンテーションをすぐに創れます

- ・ たいいていのプレゼンテーションソフトウェアは扱いにくく時間がかかりますが、マップを使ってアイデアを洗練させるのは直感的です。加えてテンプレートを活用すれば、それに沿って進められ、重要項目に集中し続けられます。

聴衆の記憶に残るように、見える化できます

- ・ マインドマップは聴衆にとって見てわかるイメージを創り出します。ある研究によると我々は言葉よりも見てわかるイメージの方がより容易に覚えるそうです。

リアルタイムのコラボレーションに移行できます

- ・ 静的なスライドと違い、マップによって自然かつ流れるように聴衆とのやりとりが起こります。聴衆が参加した時点で、彼らの心はつながります。そしてつながった脳がナレッジを吸収するのです



「マッピングのアプローチをとることで、プロセス改善への参加意欲と興味が高まり、打合せが極めて生産的になりました。」



AI Homyk
General Manager
of Operations Services

変えるべきこと③ プレゼンテーションからナレッジの共有へ

役に立つ3つのリソース

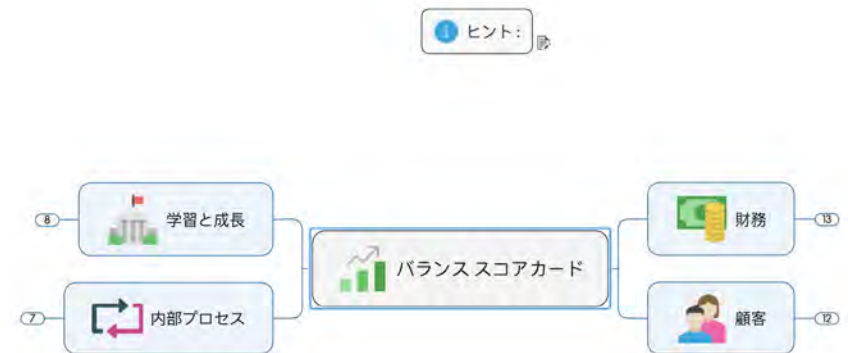
Ethos Blog:
[Why You Should Mind Map
Your Next Presentation](#)

The Big Fish Presentations Blog:
[Five Killer Ways to Open Up
Your Next Presentation](#)

Map Template:
[Balanced Scorecard Presentation](#)



[MindManager の無料トライアル版の入手はここをクリック](#)



MindManager について

MindManager は個人やチーム、企業が情報を捉え、整理して共有するやり方を簡単にすることで、素晴らしい仕事を遂行することを可能とするソフトウェアです。あなたやチームが会って協働して共有する方法を合理化します。今すぐ全機能を30日間使える無料トライアル版を入手して下さい。

www.mindjet.com/jp/myfreetrial

「マインドマッピングソフトウェアを利用するエキスパートユーザーは、1週間で平均7時間、ほとんど1日分の仕事に等しい時間を節約できると言っています。」

Mind Mapping Software Trends
Survey 2017